



採血室



採血は、痛みが伴うため恐怖心を持つ患者様がほとんどです。私達は、少しでも患者様の苦痛や負担を少なくするよう心がけています。

リラックスしていただけるよう、早めに挨拶や声かけをしています。
(不安な場合は遠慮せず一声かけてください。それだけで緊張がとれます。)
一人一人の患者様に合った針を選んでいきます。
アルコール、バン創膏にかぶれやすい方は、かぶれにくい製品に変えます。
VVR(血管迷走神経反射)や神経損傷を起こさないよう、細心の注意を払っています。
(以前に貧血を起こされた方、体調のすぐれない方は事前に申し出てください。)
(採血前、中、後に気分の悪い方はいつでも看護師にお知らせください。)

《採血の前に》

1回で採血を成功させるためには、患者様の協力がとても大切です。

固くならず、できるだけリラックスしてください。
(緊張すると、血管が収縮し採血しづらくなります。)
背筋を伸ばし、よい姿勢をとってください。
(うつむかれますと、採血しづらくなります。見たくない場合は横を向いてください。)
絶飲食が必要な検査(胃カメラなど)がなければ、水分(お茶などのカロリーのないもの)を多めに摂ってきていただきますと、血液の流れがよくなり、採血しやすくなります。
冬場は特に、手を暖かくしてきてください。
(ホッカイ口で温めている方もありますが、とても助かります。)
面倒でも上着はお脱ぎください。
(袖が上がりやすく、採血後も止血しにくくなります。)

《採血後の注意点》

採血後は揉まずに、2本の指で3分から5分しっかり指圧することが大切です。揉んだり、抑えなかつたりすると、あとで青くなつたりする場合があります。

採血した方の手で、すぐに重い荷物を持ったり、杖をついたりされると、再び出血することがあります。

ワーファリンなどの抗凝固薬を内服されている患者様は、5分から10分の圧迫止血が必要な場合にもあります。

採血当日、お風呂は入れます。

採血後、すぐに先を急がれる患者様も多いですが、どうぞ焦らずに、3分から5分採血室でゆっくりしてってください。

〈自己血採血〉

輸血が必要な待機的手術の場合、輸血による感染や副作用を回避するため

自己血輸血が行われる場合があります。医師、看護師、検査技師が協力し、

自己血採血を行っています。1回の採血量は200ml～400ml、一週間おき

に2回から3回採血します

